

皆様に、最新の**労働災害情報**をおとどけしています！

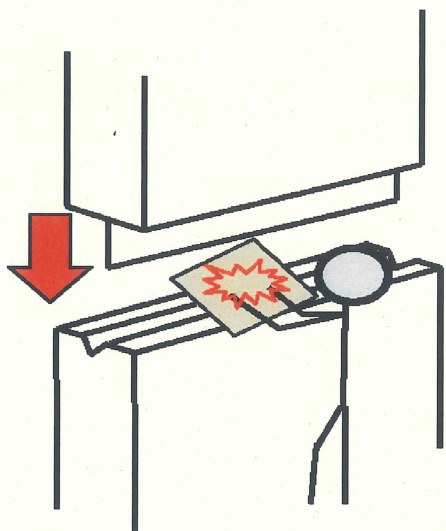
災害発生情報 No.100

2018. 8

(一社) 筑西労働基準協会

筑西労働基準監督署管内で発生した労働災害の最新情報をお届けしています。各事業場の安全衛生活動にご活用下さい。

業種	製造業	経歴	0年	年齢	30代	男女	男性
発生月	2月		発生時刻		16時20分		
発生状況	プレスブレーキ（ベンダー）を用いて鉄板を曲げ加工しているとき、誤って両手を鉄板の上に置いたままフットペダルを踏んだことから、降下してきた上型に両手の指を挟めてしまった。						
負傷の程度／部位	指7本の切断		休業見込		3ヶ月		



～再発防止のために～

労働安全衛生規則第131条第1項では、プレス機械及びシャーについては、安全囲いを設ける等により、労働者の身体の一部がスライド等が作動する範囲（危険限界）に身体の一部が入らないよう必要な措置を講じる必要がありますが、これらの措置が困難である場合は、光線式の安全装置等を取り付ける等、別途必要な措置を講じる必要があります。なお、同条第2項において、プレスブレーキは先の条文第1項の措置が困難であることが多々あるため、プレスブレーキ用レーザー式安全装置を取り付けることが求められます。この場合、使用するプレスブレーキの性能に合った安全装置の取り付けが必要となります。

◆日々ご安全◆

7月から連日の記録的な猛暑が続き、なかなか疲れが抜けないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

熱中症予防のために、暑さ指数（WBGT値）の把握、冷房設備の設置により暑さを避ける、こまめな水分補給等の対策が推奨されていますが、暑さの感じ方は、人により異なり、その日の睡眠時間等の体調が大きく影響するといわれています。

8月に入り夏休みの季節になりました。今年の8月11日の「山の日」はあいにく土曜日となっていますが、所定の休日に有給休暇を追加する等により、心と体をリフレッシュさせたいものです。

なお、休み明けなど暑さに慣れていない時期は熱中症が発生しやすいため、万一の熱中症患者の発生に備え、搬送する病院の確認や緊急時の対応に関する教育を行いましょう。

※この記事は、筑西労働基準監督署安全衛生課のご協力により作成し、随時お届けしています。お届けしている災害情報はすべて実際に発生した事故ですが、わかりやすいように一部加工する場合がございます。